



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月29日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 一六堂

コード番号 3366 URL <http://www.ichirokudo.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柚原 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大木 貞宏

TEL 03-3510-6116

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	6,396	2.2	179	△49.3	270	△35.7	83	△54.4
22年2月期第3四半期	6,258	—	353	—	420	—	184	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	984.28	886.05
22年2月期第3四半期	2,159.44	1,939.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	6,941	4,019	57.9	47,117.52
22年2月期	6,020	4,007	66.6	46,994.40

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 4,019百万円 22年2月期 4,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
23年2月期	—	525.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	525.00	1,050.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,252	7.5	542	△13.4	671	△6.6	298	△18.5	3,496.03

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ 2. その他の情報 をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 86,644株 22年2月期 86,620株
② 期末自己株式数 23年2月期3Q 1,337株 22年2月期 1,337株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 85,299株 22年2月期3Q 85,265株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出の回復や政府の景気対策の効果などにより、景気に持ち直しの兆しが見られるものの、国内需要の回復力は依然として弱く、また円高が進行するなど、先行き不透明感の拭えない状況で推移しました。

外食業界におきましては、節約志向や購買意欲の停滞により消費者の外食を控える傾向は依然として強く、また顧客確保のため低価格化を推し進める企業が相次ぐなど、当業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しいものとなっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、客単価5,000円前後の主力和食業態「天地旬鮮 八吉」を中心に、主として東京都内のビジネス街に店舗展開を進めており、同業他社とは一線を画した営業戦略で差別化を図っております。出店戦略につきましては、新規出店をあえて抑制した前連結会計期間から一転、豊富な資金力を背景に当連結会計期間においては積極的な出店を実施いたしました。当第3四半期連結累計期間にオープンした新規店舗は9店舗を数え、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、77店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,396,833千円（前年同期比2.2%増）となりました。当第3四半期連結累計期間にオープンした9店舗のうち一部に売上高予算が未達の店舗もあり、さらに既存店舗のうち夏場に弱い鍋業態が苦しみましたが、主力業態の和食接待居酒屋は好調に推移しました。

営業利益は179,393千円（前年同期比49.3%減）、経常利益は270,389千円（前年同期比35.7%減）、四半期純利益は83,958千円（前年同期比54.4%減）と前年同期比で減益となりました。出店を1店舗に抑制した前年同期にくらべ、設備投資に係る減価償却費や備品消耗品費と店舗契約時の仲介手数料等の初期費用がかさみ、販売費及び一般管理費が前年同期比5.5%増加しております。

今後も引き続き無理なく規模を拡大しながら、当社の特徴である漁港での鮮魚を直接買付けることのできる権利、すなわち買参権をさらに活かすべく、特に既存店を質的、人的両面ともにさらに充実したものにするために戦略的な営業、人員の採用を引き続き実施していく所存であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、6,941,888千円、負債の部は2,922,434千円、純資産の部は4,019,453千円となりました。この結果、自己資本比率は57.9%となっております。

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,109,093千円となり、前連結会計年度末と比較して416,524千円増加しております。主な要因は、新規借入等により現金及び預金が309,057千円増加したことによるものであります。なお、当第3四半期連結会計期間末の流動資産÷流動負債で表わされる流動比率は、財務健全性の指標である100%を大きく超過する150.0%となっております。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、4,832,794千円となり、前連結会計年度末と比較して504,770千円増加しております。主な要因は、当第3四半期連結累計期間に新規出店した合計9店舗の設備投資額等による増加が518,617千円、新規店舗の契約等による敷金及び保証金の増加が179,181千円に加えまして、平成22年8月に購入した社員寮の購入による土地の増加が163,239千円あったことによるものであります。以上の増加要因額がのれん償却による減少155,150千円を大きく超過したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,406,359千円となり、前連結会計年度末と比較して、270,142千円増加しております。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が421,546千円の増加、また、税金納付等により未払法人税等が152,660千円減少したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、1,516,075千円となり、前連結会計年度末と比較して、639,520千円増加しております。主な要因は、長期借入金の借入及び返済による純増額676,758千円であります。

⑤ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、4,019,453千円となり、前連結会計年度末と比較して11,630千円増加しております。主な要因は、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益83,958千円の計上による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加が15,039千円及び配当による利益剰余金の減少87,427千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「サマリー情報」に記載した平成23年2月期の連結業績予想は、平成22年9月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高9,252百万円、営業利益542百万円、経常利益671百万円、当期純利益298百万円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,384,436	1,075,379
売掛金	191,634	145,431
商品	254,252	185,768
その他	278,771	285,990
流動資産合計	2,109,093	1,692,569
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,351,281	2,937,850
減価償却累計額	△1,740,754	△1,577,977
建物(純額)	1,610,526	1,359,873
土地	741,130	577,891
その他	996,451	891,264
減価償却累計額	△781,933	△717,117
その他(純額)	214,517	174,146
有形固定資産合計	2,566,174	2,111,910
無形固定資産		
のれん	262,127	417,277
その他	28,701	30,147
無形固定資産合計	290,828	447,424
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,573,912	1,394,730
投資有価証券	245,720	220,042
その他	180,775	178,532
貸倒引当金	△24,615	△24,615
投資その他の資産合計	1,975,792	1,768,689
固定資産合計	4,832,794	4,328,024
資産合計	6,941,888	6,020,594

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,719	143,127
1年内償還予定の社債	5,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	720,268	298,721
未払法人税等	14,724	167,384
その他	495,647	506,982
流動負債合計	1,406,359	1,136,216
固定負債		
長期借入金	1,404,931	728,172
その他	111,144	148,382
固定負債合計	1,516,075	876,554
負債合計	2,922,434	2,012,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160,771	1,160,716
資本剰余金	1,219,791	1,219,786
利益剰余金	1,752,212	1,755,681
自己株式	△118,821	△118,821
株主資本合計	4,013,952	4,017,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,501	△9,538
評価・換算差額等合計	5,501	△9,538
純資産合計	4,019,453	4,007,823
負債純資産合計	6,941,888	6,020,594

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	6,258,737	6,396,833
売上原価	1,606,841	1,681,076
売上総利益	4,651,895	4,715,757
販売費及び一般管理費	4,298,185	4,536,363
営業利益	353,709	179,393
営業外収益		
受取利息	451	262
受取配当金	30	6,983
協賛金収入	85,933	95,448
その他	10,288	14,248
営業外収益合計	96,704	116,941
営業外費用		
支払利息	16,079	16,817
貸倒損失	3,812	—
貸倒引当金繰入額	9,561	—
為替差損	—	8,639
その他	704	489
営業外費用合計	30,157	25,946
経常利益	420,257	270,389
特別利益		
固定資産売却益	3,028	19
受取保険金	3,830	3,534
特別利益合計	6,859	3,554
特別損失		
固定資産除却損	8,069	29
損害賠償金	4,125	3,224
減損損失	—	26,824
前期損益修正損	1,485	—
その他	1,942	3,587
特別損失合計	15,622	33,665
税金等調整前四半期純利益	411,493	240,277
法人税、住民税及び事業税	180,104	140,293
法人税等調整額	47,264	16,025
法人税等合計	227,369	156,318
四半期純利益	184,123	83,958

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	411,493	240,277
減価償却費	287,794	269,126
減損損失	—	26,824
のれん償却額	155,150	155,150
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,561	—
受取利息及び受取配当金	△481	△7,245
支払利息	16,079	16,817
貸倒損失	3,812	—
為替差損益(△は益)	—	8,639
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,028	△19
固定資産除却損	8,069	29
受取保険金	△3,830	△3,534
損害賠償金	4,125	3,224
売上債権の増減額(△は増加)	△19,072	△46,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△42,514	△68,483
仕入債務の増減額(△は減少)	2,996	27,592
未払金の増減額(△は減少)	△2,058	18,324
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,625	△51,205
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,134	△8,937
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△9,864	△4,744
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△49,160	△32,945
その他	910	9,245
小計	740,491	551,933
利息及び配当金の受取額	325	6,621
利息の支払額	△14,999	△17,012
保険金の受取額	3,830	3,534
損害賠償金の支払額	△4,125	△3,224
法人税等の支払額	△745,515	△265,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,992	276,341

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△117,377	△723,165
有形固定資産の売却による収入	3,065	—
無形固定資産の取得による支出	△18,416	△3,833
投資有価証券の取得による支出	△236,123	—
定期預金の払戻による収入	105,000	114,000
定期預金の預入による支出	△86,500	△87,000
敷金及び保証金の差入による支出	△72,906	△244,523
敷金及び保証金の回収による収入	19,904	41,004
短期貸付金の増減額 (△は増加)	1,655	53
その他	368	△24,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,331	△927,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	572,000	1,920,000
長期借入金の返済による支出	△687,028	△821,694
割賦債務の返済による支出	△9,988	—
社債の償還による支出	△120,000	△15,000
株式の発行による収入	10	60
配当金の支払額	△42,633	△87,427
その他	△112	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287,753	995,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△8,639
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△709,076	336,054
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,658	988,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	574,581	1,324,373

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

飲食事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメント売上高及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

飲食事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメント売上高及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、記載しておりません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

海外売上高がないため記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

海外売上高がないため記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。